取扱説明書

CHIEF

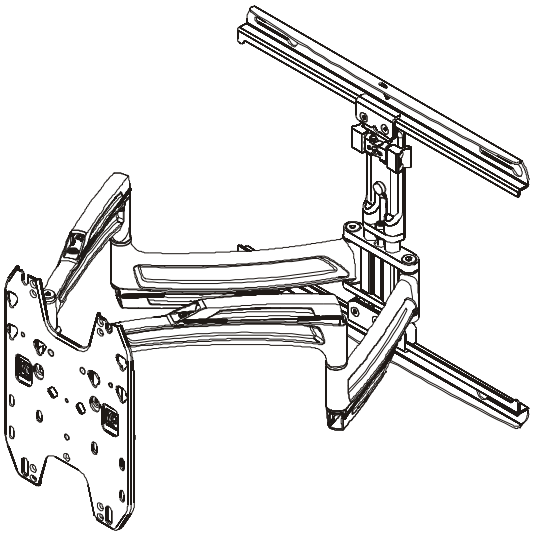
デュアルスウィングアウトアーム式・大型フラットディスプレイ壁付け金具

型番 TS-325TU

このたびは、当社製品をお買い上げいただきまことにありがとうございます。

ご使用の前にこの 「取扱説明書」 をよくお読みの上正しくお使いください。

とくに「安全上のご注意」は必ずお読みください。お読みになったあとは、いつでも取り出せる様に保管してください。



必ずお守りください

壁掛け設置には特別な技術が必要ですので、必ず専門の取付工事業者へご依頼ください。

お客様による工事は一切行わないでください。

販売店様、工事店様へ

- お客様の安全のため、取り付け場所の強度には、少なくともディスプレイと本製品を合わせた５倍以上の重量に耐える場所に設計施工を行ってください。
- 作業は必ず２人以上で行ってください。
- 取扱説明書で指定しているネジや固定金具は説明書通りの数量を確実に取り付けてください。

第003版　2014年 12月16日発行

安全上のご注意　ご使用の前に必ずお読みください

⚠ 警告と注意！

警告: この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性がある内容を示しています。

警告: この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性がある内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

⚠ 警告
作業は必ず２人以上で行ってください。不十分な人員での作業はけがや破損の原因となります。

⚠ 警告
部品を改造しないでください。また破損した部品は使用しないでください。落下などの事故やけがの原因となります。

⚠ 警告
取付けているネジがゆるんでいたり、抜けていたりすると、金具やディスプレイの落下につながり非常に危険です。

⚠ 警告
ボルトやネジ類は指定の位置に指定の本数を確実に取り付けてください。また壁に取り付ける固定ネジは付属しておりません。壁の材質や構造に適合したネジをご使用ください。

⚠ 警告
開閉するドアや家具の扉にぶつかる場所には設置しないでください。また振動の多い場所や、大きな力が加わる場所には設置しないでください。落下や破損、けがの原因となります。

⚠ 警告
作業中ピンチポイントに注意してください、指をはさまないようにご注意ください。

⚠ 警告
ディスプレイの取付作業を行うとき以外、ラッチが確実にディスプレイを固定しているようにご確認ください。また、ケーブルの取付作業を行うときは、必ずラッチでディスプレイを固定してください。

⚠ 注意
運送による破損の可能性があるため、取付作業を行う前、確実に商品をチェックしてください。

設 置 の 前 に

■設置場所について

- 壁面は総合荷重に長期間十分に耐え、地震や予想される振動、外力にも十分耐え得る施工を行ってください。
- 設置の前に、壁掛けユニットとディスプレイの質量を確認のうえ、壁面強度を確認してください。強度不足の場合は十分な補強を行ってください。
- 荷重は必ず柱や梁などの堅牢な構造材で受けるように取り付けてください。
- 強度が不十分な壁面への直接取り付けは行わないでください。幅木や受け木天井吊り金具には取り付けないでください。
- コンクリートの壁に取り付ける場合は、総合荷重に十分に耐えるアンカー類を使用してください。

誤った取り付けや強度が不十分な取り付けを行った場合、ディスプレイが落下して重大な事故やけがの原因となりますので、十分にご注意ください。

■設置方法

各種の壁に対応したアンカー類やネジ等は、十分な強度を持ったものをご用意ください。

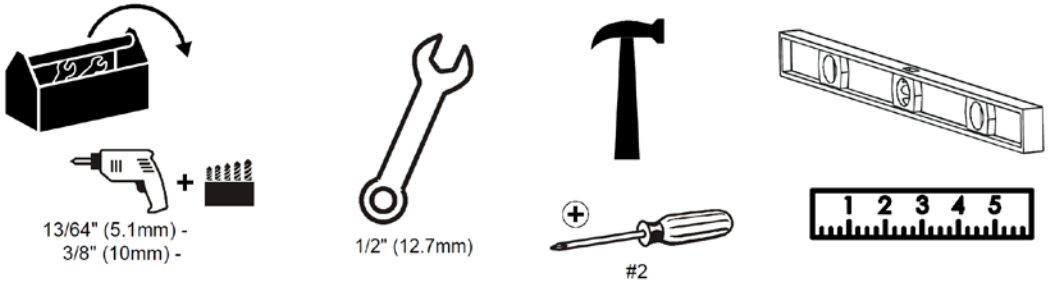
本取扱説明書の安全上のご注意の設置場所についてよくお読みのうえで、ディスプレイの壁面への適切な設置場所を決めて下さい。

図に従って壁面にアンカー処理、下穴処理等を必要に応じて行ってください。

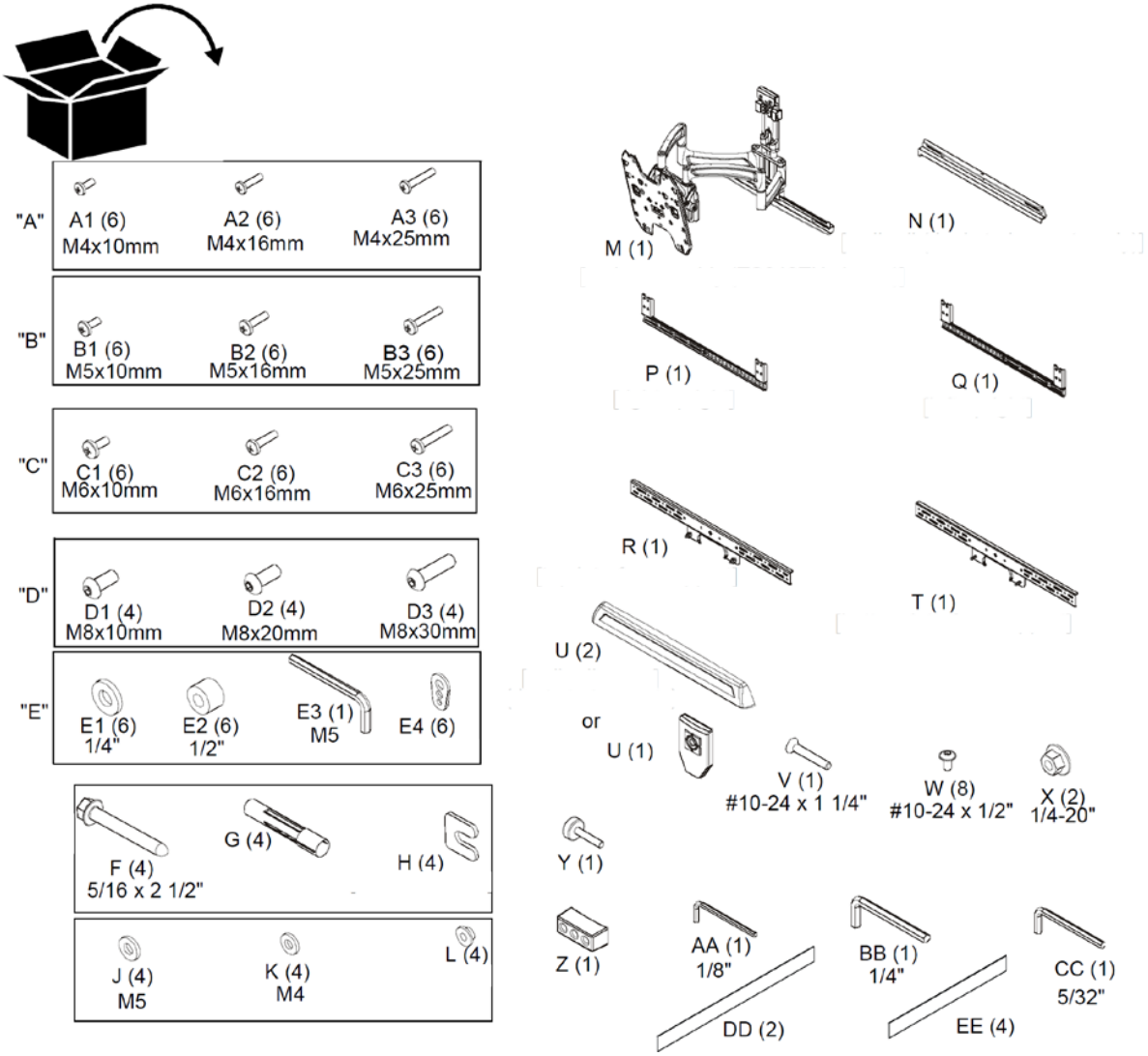
壁面の強度やネジの保持強度が十分確保できるかを確認してください。

本製品を壁面にしっかりと取付けてください。
指定された取付穴に、決められた個数の固定ビスを必ず取り付けてください。

■必要な工具

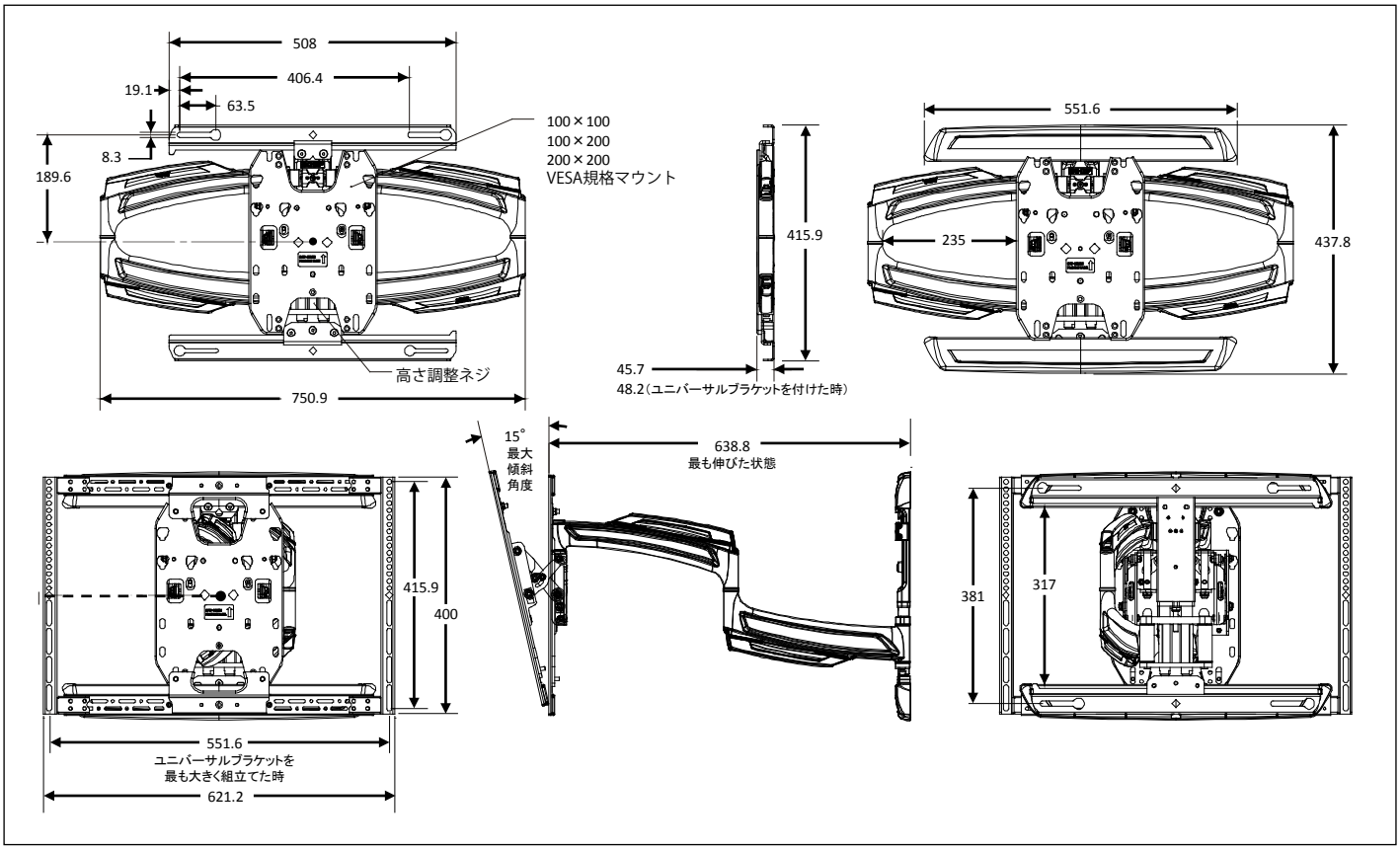


■パーツ



添付品の封入内容は、性能向上、対応範囲の変更等の目的で変更することがあります。

■寸法 （単位mm）



■本体重量 11.7 kg

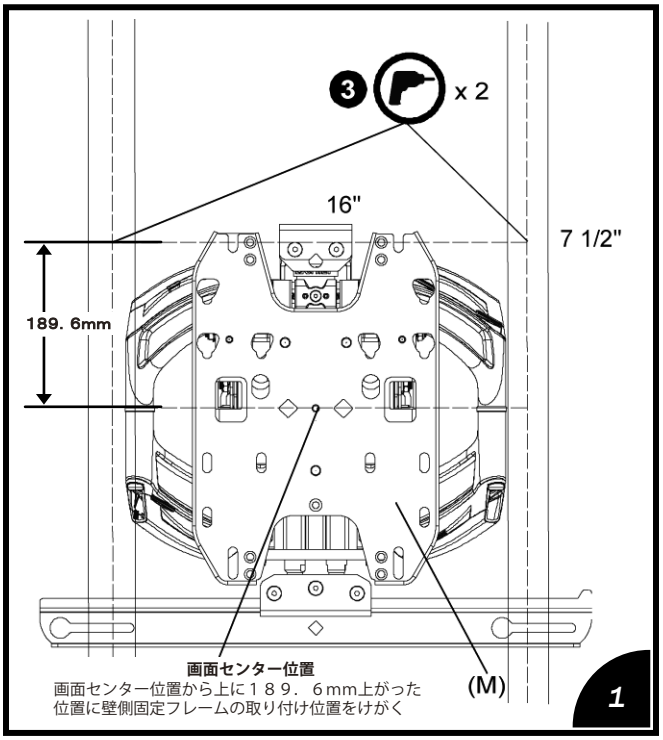
■取付重量 34 kg

■別売りオプション

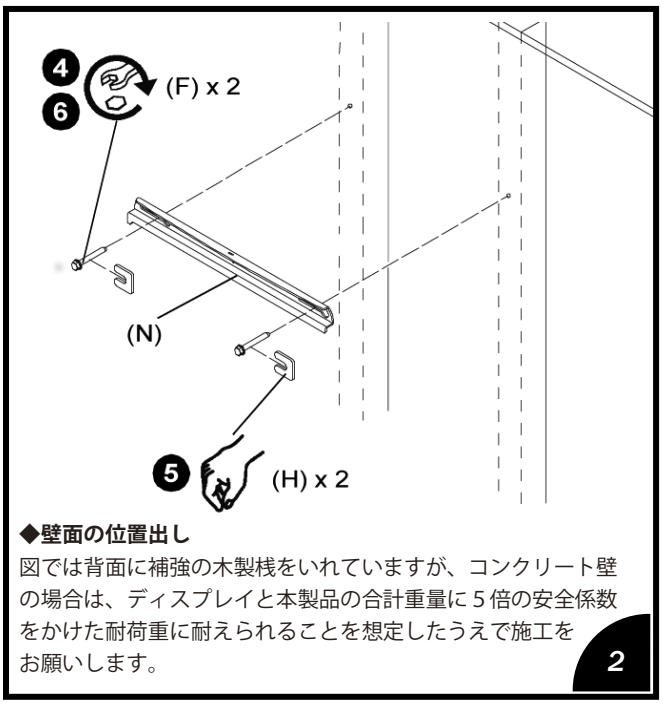
- **スウィングアーム用中間シェルフ ：型番 TA100**
  （45mm幅の中間シェルフ）
- **カメラシェルフ ：型番 TA250**
  （300mm幅のカメラシェルフ）

◆壁面の位置出し

ディスプレイのセンター位置から上に189.6mm上がった位置に、上側の壁固定フレームの固定ボルト位置がくるようにしてください。



◆メインアセンブリを壁側金具（N）に取り付ける。

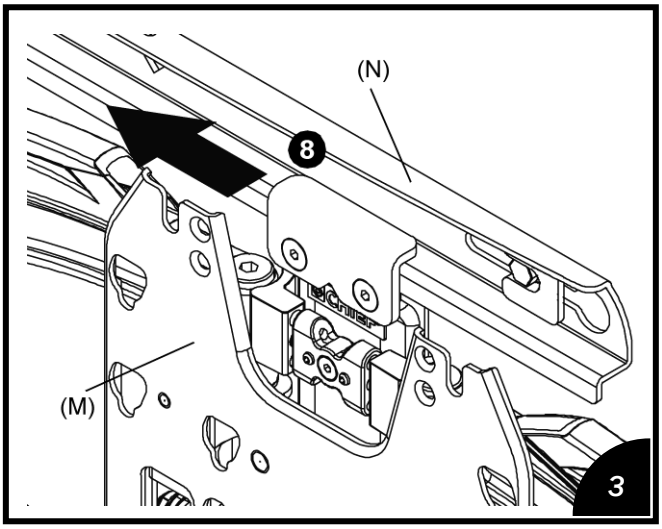


◆壁面の位置出し

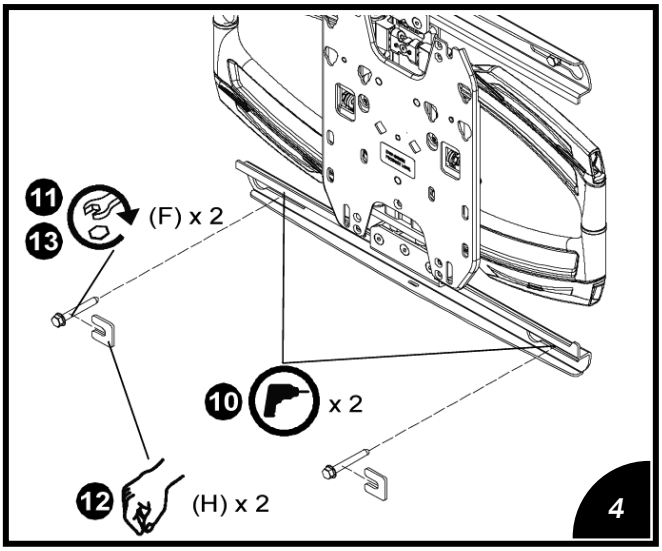
図では背面に補強の木製桟をいれていますが、コンクリート壁の場合は、ディスプレイと本製品の合計重量に５倍の安全係数をかけた耐荷重に耐えられることを想定したうえで施工をお願いします。

◆上側の壁固定フレームにメイン金具を取り付ける。

メイン金具は２本の六角ナットで固定されます。

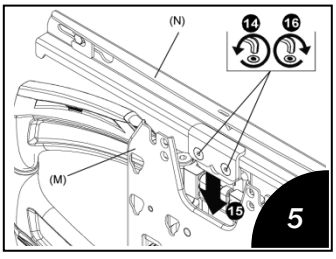


◆下側固定フレームの取り付け

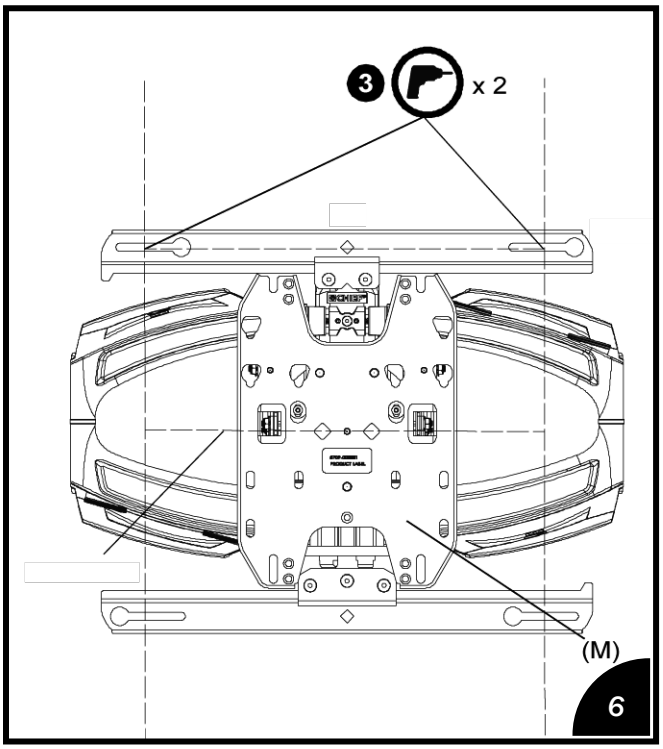


下側固定フレームを壁に取り付けます。
（H）の安全ワッシャーは取り付けてください。

◆センター位置が決まったら、六角ボルトを固定します。

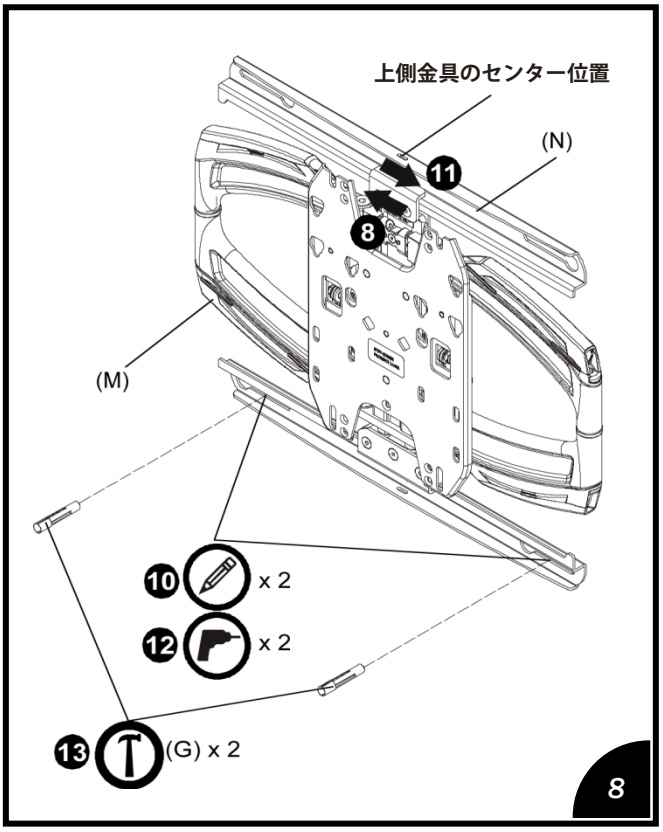


◆コンクリート壁での施工方法



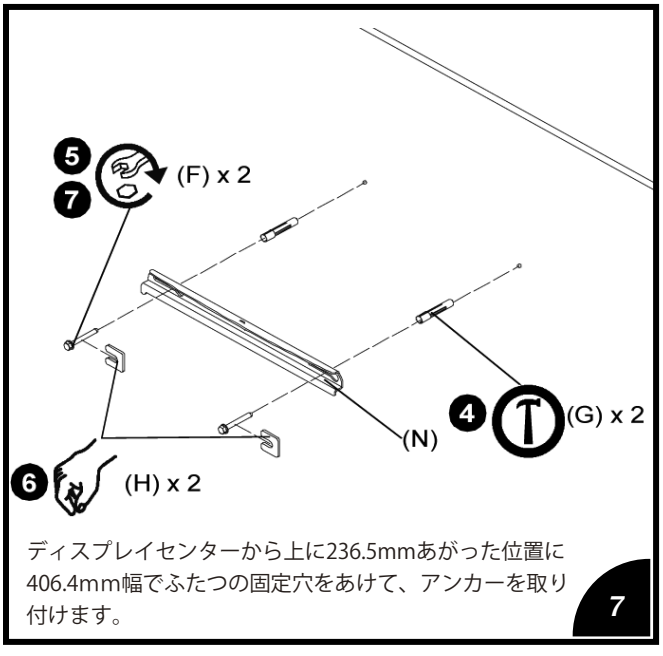
固定場所がコンクリートの場合は、あらかじめ固定位置を墨出ししたうえで、3/8"サイズのコンクリートアンカーと固定ボルト使用して取り付けてください。

◆下側金具の取り付け手順



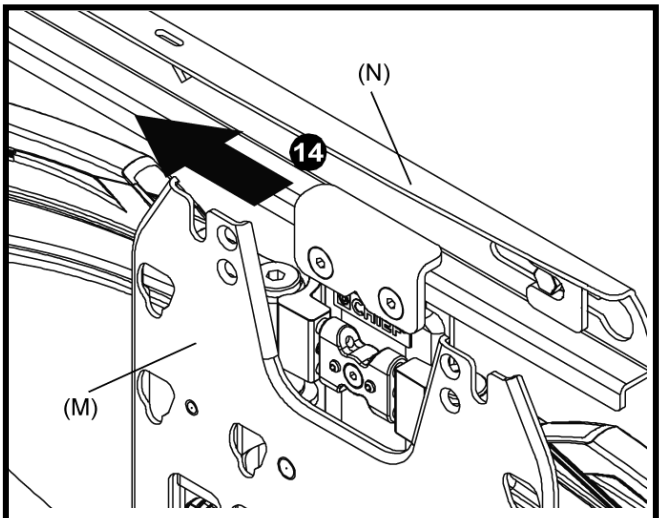
上側金具の固定と同様に、アンカーを利用して固定します。

◆上側金具の固定方法



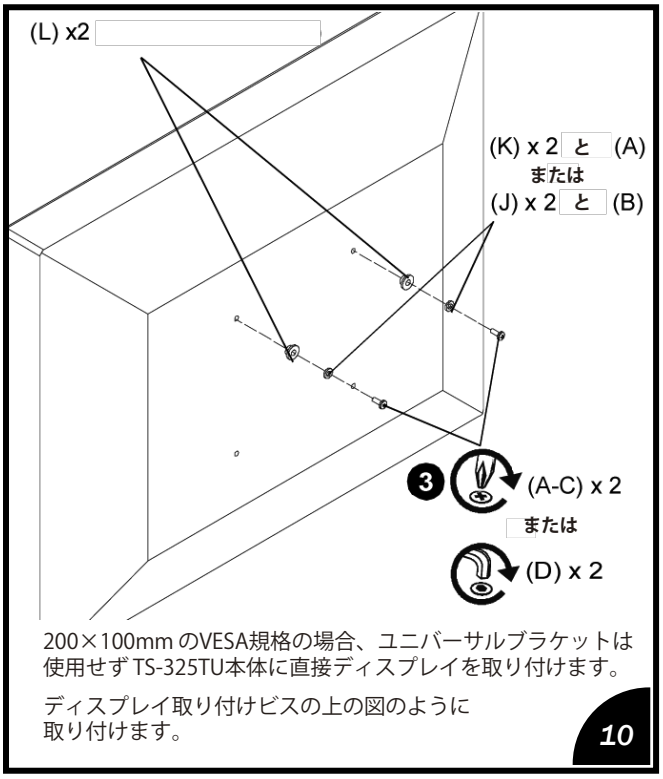
ディスプレイセンターから上に236.5mmあがった位置に406.4mm幅でふたつの固定穴をあけて、アンカーを取り付けます。

◆ディスプレイの左右調整



図のように、ディスプレイの左右位置を調整することができます。六角ボルトで（１４）のボルトをゆるめて、調整してください。

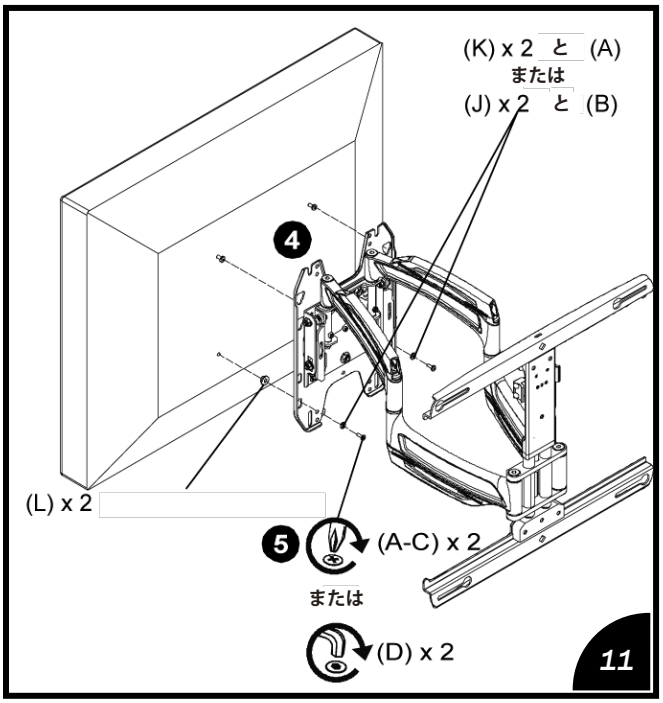
◆ディスプレイの取り付け



200×100mm のVESA規格の場合、ユニバーサルブラケットは使用せず TS-325TU本体に直接ディスプレイを取り付けます。

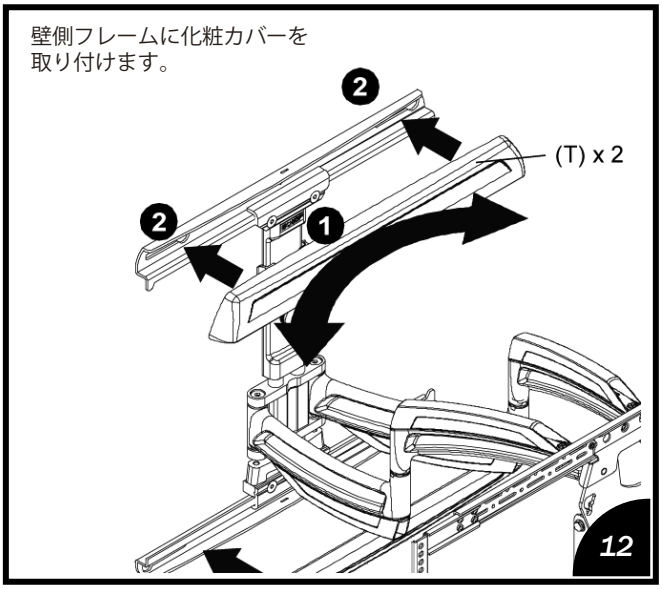
ディスプレイ取り付けビスの上の図のように取り付けます。

下記の要領で、ディスプレイ側にアタッチメントを直接取り付けて、本体金具に直接取り付けます。

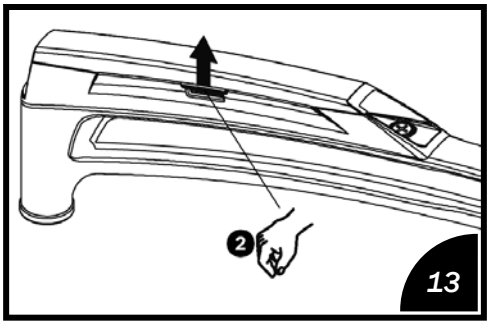


◆化粧カバーの取り付け

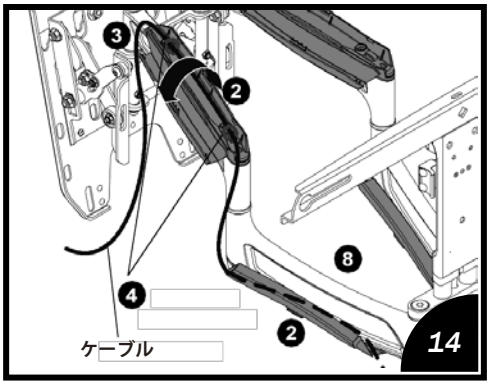
壁側フレームに化粧カバーを取り付けます。



◆スウィングアームについているケーブルカバーは、カバーの中心にあるタブを引っ張ることで開けることができます。

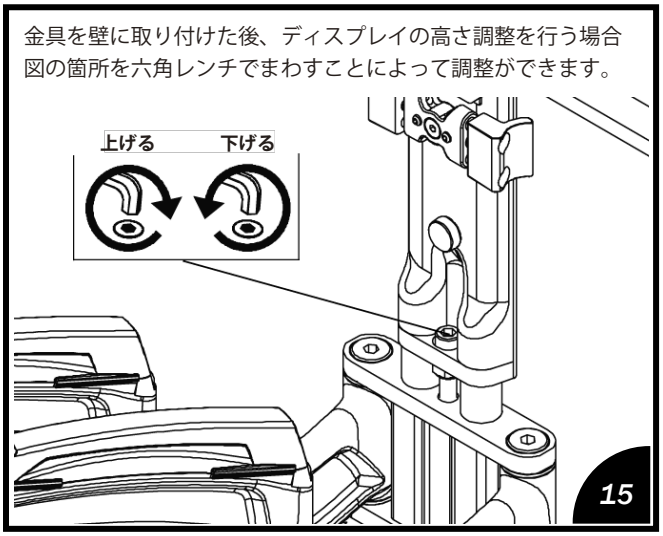


◆アーム部分には全てケーブルカバーがついていますので、配線用ケーブルは全てその中に隠すことが可能です。



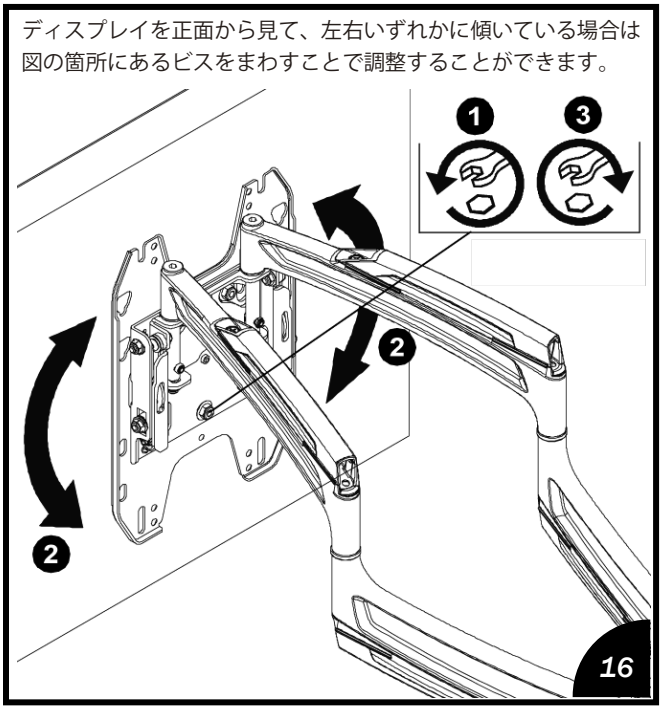
◆ディスプレイ高さ調整

金具を壁に取り付けた後、ディスプレイの高さ調整を行う場合
図の箇所を六角レンチでまわすことによって調整ができます。



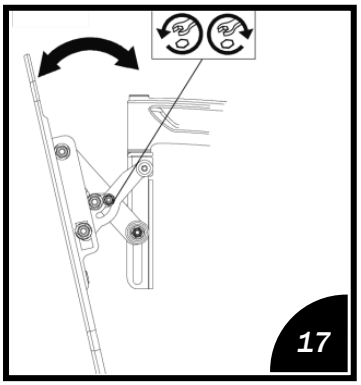
◆左右水平傾き調整

ディスプレイを正面から見て、左右いずれかに傾いている場合は
図の箇所にあるビスをまわすことで調整することができます。



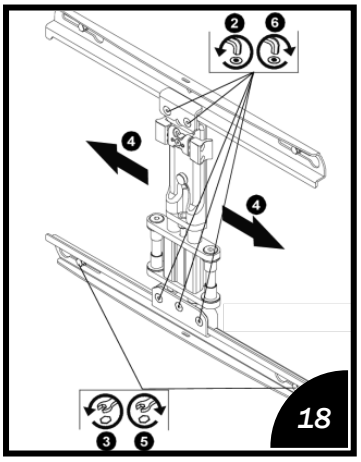
◆チルトフリクション調整

図の箇所の調整ビスを廻すことで、ディスプレイの傾斜調整の固さ
を調整することができます。



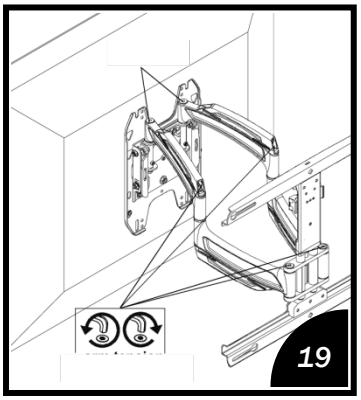
◆ラテラルシフト調整

ディスプレイを壁に取り付けた後、左右の位置調整を行う場合は
図のように４箇所の六角ナットを緩めて調整することができます。



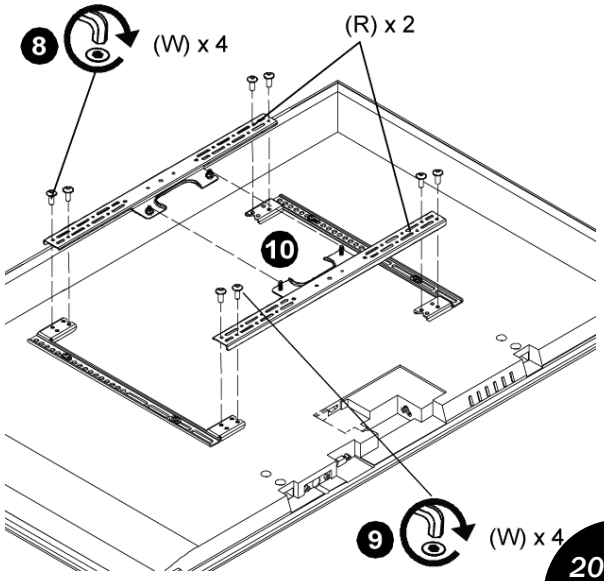
◆アーム固さ調整

アームの固さを調整する場合には、図の箇所のアジャスターを適宜
最適な固さに調整してください。



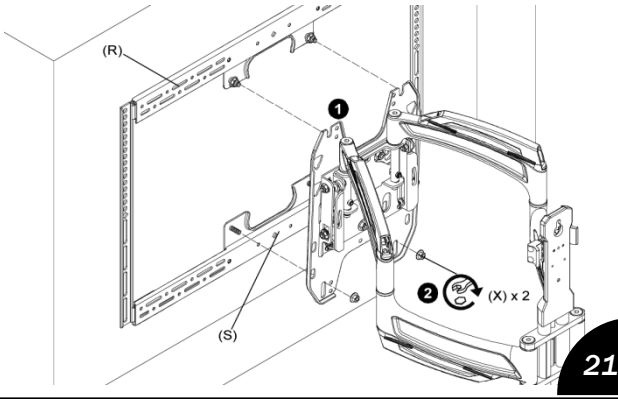
◆ユニバーサルブラケットの取り付け

VESA規格でないディスプレイを取り付ける際は、ユニバーサルブラケットを用いて固定します。
ディスプレイの背面取り付けネジ位置に合うように固定します。



◆本体とユニバーサルブラケットの合体

下図の要領で、壁側ユニットとあらかじめディスプレイに
取り付けたユニバーサルブラケットをセットします。
取り付けたあと、（X）ネジで固定します。



Memo

CHIEF正規輸入総代理店

株式会社 映像センター
AUDIO VISUAL COMMUNICATIONS LTD.

http://www.avc.co.jp/

● システム販売事業部　首都圏　〒135-0063　東京都江東区有明3-7-18 有明セントラルタワー 8F
TEL：03-3527-8660　FAX：03-3527-8666

関　西　〒564-0062　大阪府吹田市垂水町3-18-25
TEL：06-6836-7827　FAX：06-6310-6144

第003版　2014年 12月16日発行